

チャペル週報

No.11

2025.6.16～6.20

ペトロは言った。「私には銀や金はないが、持っているものをあげよう。
ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」

使徒言行録 3 章 6 節



神戸三田キャンパスランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

6月16日(月)	神 人 建 短大	大田 詠子(国際連携機構事務部留学生支援課職員) 音楽チャペル 関西学院聖歌隊 献血実行委員会 坂口クラス ダッドレーチャペル
6月17日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	加納 和寛(神学部教授) Andreas Rusterholz(宗教主事) しんどくなった時⑤ 高原 基彰(社会学部教授) 井上 智(宗教センター宗教主事) 経済と人間⑦ 猪野 弘明(経済学部教授) 木原 桂二(宗教主事) Holger Robert Bungsche(国際学部教授) 竹内 富久恵(日本キリスト教団神戸愛生伝道所/北須磨教会牧師) 松林 志保(総合政策学部准教授) 実習をふりかえって 前田 佑利子(教育学部4年)
6月18日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	音楽チャペル 関西学院ハンドベルクワイア しんどくなった時⑥ 加納 和寛(神学部教授) 「瞑想」 Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 高森 桃太郎(商学部准教授) 佐藤 博信(人間福祉学部准教授) 音楽チャペル④ 関西学院聖歌隊 音楽チャペル 関西学院室内合奏団 友國 花南(教育学研究科M1年)
6月19日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	眞鍋 ヨセフ(日本キリスト教団神戸栄光教会伝道師) Andreas Rusterholz(宗教主事) しんどくなった時⑦ 矢橋 洋(教育連携部長) 松本 和洋(法学部准教授) 経済と人間⑧ 村上 佳世(経済学部准教授) 上田 直宏(日本キリスト教団主恩教会牧師) 江見 圭司(本学講師) Chapel in English Esben Petersen(宣教師、神学部助教) 竹佐古 真希(関西学院オルガニスト) ペンテコステ礼拝
6月20日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	関西学院のこころ⑤ 井上 智(宗教センター宗教主事) 英語中期留学報告 塚越 彩葉(神学部3年) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 経済と人間⑨ 岡田 敏裕(経済学部教授) 鎌田 真(神戸三田キャンパス事務室職員)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

6月20日(金) 言語コミュニケーション文化研究科のために 藤野 真子(言語コミュニケーション文化研究科委員長)

Zoomでのご参加希望の教職員・学生等の方は、QRコードを読み込みお申込みください。



ベトナムに寄せて

金地 りょう子

娘が仕事で一時ベトナムに滞在していた2年前に、夫とともにベトナムを訪れた。初めてのベトナムは驚きと感動、そしてさまざまなことを考えさせられる旅になった。

娘のいるホーチミンは南北に長い国土の南端にあり、常夏の街だった。空港に降りたつと独特の香りと熱帯の空気が迎えてくれた。

一番のカルチャーショックは街にあふれているバイクだった。ベトナムには鉄道がなく、一般的な家庭の人々の生活の交通移動手段はバイクと車、中でもバイクがとても多い。最も驚いたことはほとんど信号なく、クラクションがひっきりなしに鳴り響いていることだ。娘いわく、ベトナムでのクラクションは「気をつけてくださいよー」というメッセージで、決して「どけ」「早く行け」などという気持ちの表れではないらしい。国や文化によって全く異なるメッセージになることを痛感しつつ、四方から来るバイクや車が道路や交差点でせめぎあう中で、クラクションの合唱に少なからず心が疲れてしまう自分がいた。日本では急いでいる時に信号待ちでいらいらすることが時々あるが、それがなんともありがたく思えた。

ベトナムはとても明るく活気があった。ガイドさんの話によればベトナム人の平均年齢は30代だそうで、とても若い。未来のベトナムを若者たちが背負い、豊かにしていこうとする空気がいたるところで感じられた。また景観が美しく、家々の軒先に競うように咲き誇るブーゲンビリアをはじめとした熱帯の花々と、ランタンの灯が川面に映し出されて幻想的な町ホイアン、海かと思間違う悠久のメコン川など、人々の生活と自然がとても調和していた。

旅の最後に戦争証跡博物館を訪れた。すさまじい侵略戦争、南北戦争の証跡が丁寧に展示されていた。人間が引き起こしてきた戦争の愚かさや悲惨さを、多くの写真と映像たちが機関銃のように激しく突き付けてきた。英語で表記された説明文が半分ほどしか理解できなくてもその様がすべてを語りつくし、涙が止まらなかった。多くの欧米人がこの博物館を訪れており、その表情はどれも歪み悲哀に満ちていた。同じ過ちを繰り返さぬように人は過去の負の遺産から学ぶことができる。なのに世界の中には紛争や戦争の真ただ中に置かれた人々がいる。苦しい。自分の身の回りから平和への小さな一歩を踏み出すことを誓った場所になった。

社員用の高層マンションにある娘の部屋から、港町ブンタウの小高い山の上に両手を広げて建つ巨大なキリスト像が見えて感嘆の声を上げた。正直娘のそばでイエス様がいつも見守ってくださっていることにどれだけ安堵を覚えたかしのれない。街にはいくつも教会があり、イエス様を慕う国ベトナムがとても近しく感じられた。

(中学部教諭)

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院はキリスト教主義教育を理念として、Mastery for Service というスクールモットーを持っています。メッセージビデオ「風に思う」では、関西学院の土台である聖書の言葉やキリスト教の思想をもとにした院長室スタッフからのメッセージや、学院で Mastery for Service の精神を体現する学生団体等と院長との対談をお届けします。皆様の心の糧となれば幸いです。

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazenimou> 「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)



●夕の礼拝のご案内

関西学院では、2025 年度より「夕の礼拝」を始めました。勉学や仕事終わりなどに、どなたでもご参加いただける礼拝です。パイプオルガンの音に耳を傾け、賛美歌を歌い、聖書の言葉に聞き、日々の忙しさと喧騒の中で、こころ静かに過ごすひと時となれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。オンライン配信も行います。

日時・場所：6月24日(火)18:50~19:50 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

テーマ：「新しい心、新しいスピリット」

司式：井上 智(宗教センター宗教主事) メッセージ：打樋 啓史(宗教総主事)

主催：関西学院 共催：関西学院宗教活動委員会

問合せ：学校法人関西学院総務部 TEL. 0798-54-6740

視聴用 URL：<https://kwansei-gakuin.zoom.us/j/92211178017>

パスコード：742925



●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

6月19日(木)17:50~18:10 井上 智(宗教センター宗教主事)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、結婚式などが行われています。4月から関西学院大学内の様々な音楽団体によるヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月24日(火) 関西学院ハンドベルクワイア

6月27日(金) 混声合唱団エゴラド

7月3日(木) 関西学院聖歌隊

いずれも12:45~13:15 <入場無料>

場所：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催：宗教センター・宗教音楽委員会

●夏の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆さまのご協力をお願いします。

日時：7月3日(木)、4日(金)10:30~11:20/12:40~17:00

場所：吉岡記念館ラウンジ、中央芝生横

主催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00~11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

6月22日(日)10:00~11:00